**小沢 剛**

1965東京生まれ

埼玉県在住

2016 東京芸術大学・先端芸術表現科教授に着任

2012 東京藝術大学・先端芸術表現科准教授に着任

2011 東京藝術大学、東京工業大学、武蔵野美術大学非常勤講師

2010 東京藝術大学、東京工業大学非常勤講師

2007-8 東京藝術大学非常勤講師

2002-03 文化庁在外研修員としてニューヨークに滞在

1991 東京芸術大学大学院美術研究科壁画専攻修了

 アジアン・カルチュラル・カウンシルの招聘によりニューヨークに滞在

1989 東京芸術大学絵画科油画専攻卒業

**主な個展**

2020 「小沢剛展　オールリターン―百年たったら帰っておいで 百年たてばその意味わかる」弘前れんが倉庫美術館（青森）

2019 「小沢剛 : J アラート」ミサシンギャラリー（東京）

2018 「不完全―パラレルな美術史」千葉市美術館

2016 「あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き」ミサシンギャラリー（東京）

 「西京人―西京は西京ではない、ゆえに西京は西京である。」［西京人］金沢21世紀美術館（石川）

2015 「帰って来たペインターF」資生堂ギャラリー（東京）

 「小沢剛：あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き」プラザノース（埼玉）

 「小沢剛：ゾウ館長からの夏休みのしゅくだい」市原湖畔美術館（市原市、千葉）

 「小沢剛：あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き」［劇場版］いわきアリオス（福島）

2014 「帰って来たDr. N」はじまりの美術館（福島）

2013 「できるかな」ミサシンギャラリー（東京）
2012 「小沢剛ホワイトアウト大藝術展」（三井寺・成安造形大学連携事業）総本山三井寺釈迦堂・一切経蔵（滋賀）

 「小沢剛：あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き」豊田市美術館（愛知） / 福島県立美術館

2010 「公開制作50 小沢剛 できるかな2010」府中市美術館、東京

2009 「小沢剛：透明ランナーは走りつづける」広島市現代美術館

2008 「Himming 2008 ベジタブル・ウェポン＠ヒミング」ヒミングアートセンター（富山）

 「小沢剛展」高橋コレクション（東京）

 「太宰府天満宮アートプログラム―ホワイトアウト」太宰府天満宮宝物殿企画展示室（福岡）

2007 「七太郎企画：ハチミツと極東と美術」オオタファインアーツ（東京）

2005 「コロポックルは君に語りかける」イヴォン・ランベール（パリ、フランス）

 「台北国際芸術博覧会：年度芸術家―小沢剛」台北国際貿易センター（台湾）

2004 「ワンマングループショウ2」オオタファインアーツ（東京）

 「同時に答えろYesとNo!」森美術館（東京）

2002 「小沢剛：わりと最近の仕事」オオタファインアーツ（東京）

2000 「常設：小沢剛のジゾウイング」オオタファインアーツ（東京）

1999 「醤油画資料館別館」オオタファインアーツ（東京）

1998 「JIZOING and New Nasubi Gallery」アジアン・ファイン・アーツ・ファクトリー（ベルリン、ドイツ）

 「ワンマングループショウ 岡本一太郎、岡本二太郎、岡本三太郎、小沢剛の作品展」 オオタファインアーツ（東京）

1996 「初期の小沢剛展」オオタファインアーツ（東京）/ モマ・コンテンポラリー（福岡）

1995 「相談芸術大学」水戸芸術館現代美術ギャラリー（茨城）

 「JIZOING」青井画廊（大阪）

1994 「なすびとJIZO」メモリーズギャラリー（名古屋）

1993 「SO-DAN ART」Trance x Trance Vision（東京）

1992 「JIZONG」青井画廊（大阪）

 「JIZONG」細見画廊（東京）

**主なグループ展**2020 「窓展：窓をめぐるアートと建築の旅」［西京人］丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）

「被爆75周年記念 収蔵作品展 リアリティを移す」アートギャラリーミヤウチ（広島県廿日市）

「de-sport : 芸術によるスポーツの解体と再構築」金沢21世紀美術館
 「アーリー90’s トーキョー アートスクアッド」アーツ千代田3331（東京）

2019 「Korea-Japan Interchange Exhibition 50 / 50」、マルチプレックス・アート・サロン（ソウル）

 「窓展：窓をめぐるアートと建築の旅」東京国立近代美術館
 「岡本太郎と日本の伝統」、川崎市岡本太郎美術館

 「シャルジャ・ビエンナーレ14」、シャルジャ・アート・インスティチュート、アラブ首長国連邦

 「パレルゴン：1980年代、90年代の日本の美術」、BLUM & POE（ロサンゼルス）
 「UENOYES バルーンDAYS #3」、上野・旧谷邸（東京）

2018 「The Street. Where the World is Made」［西京人］イタリア国立21世紀美術館（ローマ）

「1940ʼs フジタ・トリビュート」、東京藝術⼤学 陳列館（東京）
 「Art and China after 1989: Theater of the World」［西京人］グッゲンハイム・ビルバオ（スペイン）

2017 「ジャパノラマ―1970年以降の新しい日本のアート」ポンピドゥー・センター・メッス（ロレーヌ地方、フランス）

「ふぞろいなハーモニー」中間美術館（北京）

「Art and China after 1989: Theater of the World」［西京人］ソロモン・R・グッゲンハイム美術館（ニューヨーク）

「ヨコハマトリエンナーレ2017星と星座とガラパゴス」横浜赤レンガ倉庫1号館

「東アジア文化都市『アジア回廊現代美術展』」［西京人］二条城・京都芸術センター

「高橋コレクション・マインドフルネス2017」山形美術館

「Seeds of Memory: Japanese Artists in Yogyakarta」ランゲン・アート・ファンデーション、アーク・ギャラリー、アイキャン（ジョグジャカルタ、インドネシア）

「TAKAHASHI COLLECTION ― 高橋コレクションの宇宙」熊本市現代美術館

2016 「高橋コレクション マインドフルネス！2016」高知県立美術館

 「フードスケープ　私たちは食べものでできている」アーツ前橋（群馬）

 「さいたまトリエンナーレ2016」旧民族文化センター（埼玉）

 「瀬戸内国際芸術祭2016『昭和40年会男木学校 PSS40』」男木島（香川）

 「12 Rooms 12 Artists UBS アートコレクションより」東京ステーションギャラリー

「グループ モバイル」Villa Vassilieff（パリ、フランス）

2015 「メッセージズ―高橋コレクション」十和田市現代美術館（青森）

 「TODAY IS THE DAY:未来への提案」アートギャラリーミヤウチ(広島)

 「みんなのアート　それぞれのらしさ」ぎふメディアコスモスみんなのギャラリー（岐阜）

 「World of Xijing」［西京人］国立現代美術館（ソウル、韓国）

 「コレクション展１ あなたが物語と出会う場所」金沢21世紀美術館

 「MAMコレクション001:ふたつのアジア地図―小沢剛＋下道基行」森美術館（東京）

 「ジャンプ―アートにみる遊びの世界」［西京人］、十和田市現代美術館（青森）

 「高橋コレクション展　ミラー・ニューロン」東京オペラシティアートギャラリー

2014 「Future Fiction」［西京人］Z 33 House of Contemporary Art（ハッセルト、ベルギー）

 「リー・ミンウェイとその関係展」森美術館（東京）

 「War Room」ペキン・ファイン・アーツ（香港）

 「黄金町バザール2014　仮想のコミュニティ・アジア」［西京人］横浜（神奈川）

 「トーキョー・ストーリー　2014　第2期」トーキョーワンダーサイト渋谷（東京）

 「アジア・アナーキー・アライアンス」西京人］国立台北芸術大学開渡美術館（台湾）

 「ビデオ・アート・フェスティバルUtopian Days-Freedom」［西京人］トータル現代美術館(ソウル、韓国)

 「オオハラ・コンテンポラリー・アット・ムサビ」武蔵野美術大学美術館（東京）

 「サッカー展、イメージのゆくえ。」うらわ美術館（埼玉）

 「開館20周年記念MOTコレクション特別企画」東京都現代美術館

 「ア・ターブル！―ごはんだよ！　食をめぐる美の饗宴―」三重県立美術館

 「あそびのつくりかた」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）

 「恵比寿映像祭―トゥルーカラーズ」［西京人］東京都写真美術館 / 恵比寿ガーデンプレイス（東京）

2013 F/T13イェリネク連続上演「光のない。（プロローグ？）」（作：エルフリーデ・イェリネク、演出・美術：小沢 剛）、東 京芸術劇場シアターイースト（東京）

 「アート・アーチ・ひろしま2013　サイト―場所の記憶、場所の力」［西京人］広島市現代美術館

 「小沢剛　高木正勝　アフリカを行く」ヨコハマ創造都市センター (神奈川)

 「オオハラコンテポラリー」大原美術館（岡山）

 「瀬戸内国際芸術祭2013『昭和40年会男木學校〜夏の臨海学校プログラム』」男木島、男木小中学校（香川）

 「昭和40年会―ウィー・アー・ボーイズ！」公益財団法人 鎌田共済会 郷土博物館（香川）

 「Re: Quest – Japanese Contemporary Art since the 1970s」ソウル大学美術館 (韓国)

 「Festival BOOM」［西京人］ Arthouse MOMO（ソウル、韓国）

 「Xijing Men Collaborative」H&Rブロック・アートスペース（カンザスシティ、アメリカ）

 「自治区」［西京人］広東時代美術館、（中国）

 「Group Show」ミサシンギャラリー（東京）

 「福岡現代美術クロニクル1970-2000」福岡県立美術館、福岡市美術館

2012 「混浴温泉世界2012」大分県別府市内各所

 「ON THE PHOTOGRAPHY 小沢剛、志水児王、バク・スンウ」ミサシンギャラリー（東京）

 「光州ビエンナーレ2012」［西京人］（光州、韓国）

 「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ2012」（新潟）

 「ダブル・ビジョン：現代日本美術展」モスクワ市立近代美術館(ロシア) / ハイファ博物館群（イスラエル）

 「コレクション展2012-I　ビルヂング　美術という建築」広島市現代美術館

 「The World Portable Gallery Convention 2012」アイレベル・ギャラリー（ハリファックス、カナダ）

2011 「プロスペクト2」現代美術センター（ニューオリンズ、アメリカ）

 「会津・漆の芸術祭〜東北へのエール〜」井上一夫商店（会津若松、福島）

 「藝大・台東・墨田観光アートプロジェクト：油絵茶屋再現」浅草寺（東京）

 「The Global Contemporary – Art Worlds After 1989」ZKM（カールスルーエ、ドイツ）

 「黄金町バザール2011」小串スタジオ（横浜、神奈川）

 「Museum Show」Arnolfini（ブリストル、イギリス）

 「Between Utopia and Dystopia」Museo Universitario arte contemporáneo（メキシコシティ、メキシコ）

 「XIJING」［西京人］、Fondazione Bevilacqua La Masa（ヴェネツィア、イタリア）

 「昭和40年会―ウィ・アー・ボーイズ！」クンストハーレ・デュッセルドルフ / National Cultural-Art and Museum Complex Mystetskyi Arsenal（キエフ、ウクライナ）

 「Shifting Surfaces」［西京人］、アートソンジュ・ミュージアム（キョンジュ、韓国）

2010 「メディア・シティ・ソウル2010」［西京人］、ソウル市立美術館 (韓国)

 「An Unexpected turn of events―チェン・シャオションと小沢剛」オサージュ・ギャラリー（上海 / 香港、中国）

 「Tricksters Tricked」［西京人］、ヴァン・アベ美術館、アイントホーフェン（オランダ）

 「会津・漆の芸術祭」会津若松市、喜多方市、三島町、昭和村（福島）

 「あいちトリエンナーレ2010」［西京人］、あいち芸術文化センター（愛知）

 「胸さわぎの夏休み」福島県立美術館

 「Double Infinity」［西京人］、ドイツ文化センター（上海、中国）

2009 「Emporium – A New Common Sense of Space」［西京人］、レオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術博物館（ミラノ、イタ リア）

 「エクストラ/オーディナリー：アジアのビデオアート」［西京人］、カンザス大学スペンサー美術館(カンザスシティ、ア メリカ)

 「第10回リヨン・ビエンナーレ」［西京人］、La Sucriére（リヨン、フランス）

 「第4回福岡アジア美術トリエンナーレ2009」福岡アジア美術館

 「Images Recalled – Bilder Auf Abruf」クンストハーレ・マンハイム（ドイツ）

 「水都大阪2009」中之島公園（大阪）

 「越後妻有トリエンナーレ2009」（新潟）

 「The first stop on the super highway」[西京人]、ナム・ジュン・パイク・アートセンター（ソウル、韓国）

 「Fact and Fiction―UBSアートコレクションの最近作より」広東美術館（広州、中国）

2008 「The Fifth Floor-Ideas Taking Space」［西京人］、テート・リヴァプール（リヴァプール、イングランド）

 「第13回バングラデシュ・ビエンナーレ」ナショナル・アート・ギャラリー、オスマニ記念ホール、バングラデシュ国 立博物館（ダッカ、インド）

 「プラットフォーム・ソウル 2008」［西京人］、クッチェ・ギャラリー（ソウル、韓国）「Moving Horizons: UBSアートコ レクション 1960年代から現代」国立美術館（北京、中国）

 「Moving Horizons: UBSアートコレクション 1960年代から現代」国立美術館（北京、中国）

 「金沢アートプラットホーム」尾張町町民文化館（金沢）

 「第3回南京トリエンナーレ」［西京人］、南京美術館（南京、中国）

 「西京オリンピック：チェン・シャオション、ギムホンソック、小沢剛」［西京人］、ボアズ・リー・ギャラリー（北京、 中国）

 「赤坂アートフラワー 2008」旧赤坂小学校（東京）

 「高橋コレクション展： neoteny japan」霧島アートの森（鹿児島）、札幌芸術の森（北海道）、上野の森美術館（東京）

 「アートでかけ橋」アサヒビール大山崎山荘美術館（大山崎町内、京都）

 「ドーム：そのモニュメントをめぐるアーティストの試み」広島市現代美術館（広島）

 「ヘヴィー・ライト：リーセント・フォトグラフィー・アンド・ヴィデオ・フロム・ジャパン」国際写真センター

 （ニューヨーク、アメリカ）

 「トムヤム・プラーディック」ジム・トンプソン・アートセンター（バンコック、タイ）

 「トゥー・アーリー・フォー・ヴァケーション/第32回アニュアル・エキシビション・オヴ・ヴィジュアル＋アート」

 リマリック・シティ・ギャラリー・オブ・アート（リマリック、アイルランド）

 「シェルター×サバイバル―ファンタスティックに生き抜くための『もうひとつの家』―」広島市現代美術館（広島）

 「もうひとつの風景：森アートコレクションより」森美術館（東京）

2007 「伝統と現代―墨、単色の世界」旧坂本小学校（東京）

 「トゥモロー」［西京人］、アート・ソンジェ・センター / 錦胡美術館（ソウル,韓国）

 「美麗新世界：当代視覚日本文化」［西京人］、長征空間（北京、中国）/ 広東美術館（広州、中国）

 「ルクセンブルグ2007 TRANS(IENT) CITY Lab 3」ハレ・ポール・ヴュルト、アーバン・ラボ・スペース（ルクセンブル グ）

 「大和ラヂエーター・ファクトリー Vol.04」大和ラヂエーター・ビューイングルーム（広島）

 「アートの変温層―アジアのニュー・ウェイブ」 ZKM（カールスルーエ、ドイツ）

 「IL FAUT RENDRE À CÉZANNE...」コレクション・ランベール・アン・アヴィニョン（アヴィニョン、フランス）

 「笑い展：現代アートにみる『おかしみ』の事情」森美術館（東京）

2006 「第5回深圳国際水墨画ビエンナーレ」[陳劭雄、小沢剛]、何香凝美術館、(深圳、中国)

 「第5回アジア・パシフィック・トリエンナーレ」クイーンズランド・アート・ギャラリー/現代美術ギャラリー（ブリ スベン、オーストラリア）

 「All look same?/TUTTTUGUALE? ―日本、中国、韓国の美術」[陳劭雄、小沢剛]、サンドレット・レ・レバウデンゴ財団 現代美術館（トリノ、イタリア）

 「広島市現代美術館コレクションによる この20年の、20のアート」札幌芸術の森美術館（北海道）

 「ホェアエヴァー・ウィ・ゴー」スパッツィオ・オーベルダン（ミラノ、イタリア）

 「直島スタンダード2」直島（香川）

 「縄文と現代」青森県立美術館

 「夏天的暇日：陳劭雄、小沢剛と家族」ユニバーサル・スタジオ（北京、中国）

 「ベルリン―東京/東京―ベルリン」ベルリン新国立美術館（ドイツ）

 「エステとダイエット」ベルガモ近現代美術館（イタリア）

 「広東東京 小沢剛＋陳劭雄」オオタファインアーツ（東京）

2005 「第2回広州トリエンナーレ」広州美術館（広州、中国）

 「キャンプ（サイト）」ウォルター・フィリップ・ギャラリー（カナダ）

 「ポップ！ポップ！ポップ！」ガナ・アート・センター（ソウル、韓国）

 「会田誠・小沢剛・山口晃」大原美術館有隣荘（岡山）

 「40」オルタナティブ・スペース・ループ（ソウル、韓国）

 「ポートレイト」ガレリア・レメ（サンパウロ、ブラジル）

2004 「ゾーン・オヴ・アージェンシー」ヴィッラ・ゼルビ（レッジョ・カラブリア、イタリア）

 「アダプティヴ・ビヘイヴィアー」ニュー・ミュージアム・オヴ・コンテンポラリー・アート（ニューヨーク、アメリ カ）

 「ニッポン・タイム・リサイクルド」イヴォン・ランベール（ニューヨーク、アメリカ）

 「ええじゃないか！」コレクション・ランベール・アン・アヴィニョン（アヴィニョン、フランス）

 「スウェディッシュ・ハーツ」ストックホルム近代美術館、（スウェーデン）

 「コピーの時代―デュシャンからウォーホル、モリムラへ」滋賀県立近代美術館

 「あきまへん」メゾン・フィル・ドゥ・ワゼム（リール、フランス）

2003 「双重時間―アジア現代美術展」中国美術学院（坑州,中国）

 「千葉アートネットワーク・プロジェクト」千葉市美術館/いずみ地区（千葉）

 「第８回イスタンブール・ビエンナーレ」アヤ・ソフィア（イスタンブール、トルコ）

 「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ2003」（新潟）

 「チェ、クソンウォン＋オザワ展」オオタファインアーツ（東京）

 「第50回ヴェネツィア・ビエンナーレ/ゾーン・オヴ・アージェンシー」アルセナーレ（ヴェネツィア、イタリア）

 「希望/HOPE—未来は僕等の手の中」ラフォーレミュージアム原宿（東京）

 「ジャパン・ナウII—篠田太郎と小沢剛」カパセーチ・エンタテイメンツ（リオデジャネイロ、ブラジル）

 「緯度が形になるとき：グローバル時代のアート」ウォーカー・アート・センター（ミネアポリス、アメリカ）/ Fondazione Sandretto Re Rebaudengo（トリノ、イタリア）

2002 「アンダー・コンストラクション」東京オペラシティアートギャラリー

 「スモール・イズ・OK」フリ・アール（フリブール、スイス）

 「光州ビエンナーレ2002 PAUSE」（光州）

 「アジアン・ヴァイヴ」カステリョン現代美術スペース（EACC）（バレンシア、スペイン）

 「新版 日本の美術 伝統のもう一つの継承者たち」山梨県立美術館

2001 「ファンタジア」スペースimA（ソウル、韓国） / 遠洋芸術センター（北京、中国）

 「横浜トリエンナーレ2001」（神奈川）

 「アート・一日小学校—家庭訪問編」ワタリウム美術館（東京）

 「ザ・ギャラリー：アンカヴァード」エセックス大学（エセックス、イギリス）

 「アートクロッシング広島」広島市内各所（広島）

 「第2回ベルリン・ビエンナーレ」（ベルリン、ドイツ）

 「生きろ」クレラー=ミュラー美術館（オッテルロー、オランダ）

 「パブリック・オファーリング」ロサンゼルス現代美術館（アメリカ）

 「小沢剛★中山ダイスケ クロスカウンター」川崎市岡本太郎美術館（神奈川）

2000 「ランデヴー」コレクション・ランベール・アン・アヴィニョン（アヴィニョン、フランス

 「わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家」ロダン・ギャラリー（ソウル、韓国） / 東京オペラシティギャ ラリー

 「ミュージアム・シティ・福岡 2000［外出中］」旧御供所小学校（福岡）

 「難民の子供たちのための遊び場とおもちゃ」国際赤十字・赤新月社美術館（ジェノヴァ、スイス）他

 「ダーク・ミラーズ・オブ・ジャパン」デ・アペル（アムステルダム、オランダ）

 「コンチネンタル・シフト」ルートヴィヒ・フォーラム（アーヘン、ドイツ）他

 「VOCA展2000 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」上野の森美術館（東京）

 「空き地」豊田市美術館（愛知）

1999 「GAME OVER」ワタリウム美術館（東京）

 「Hack the Future! 美術の闖入者たち—秋山祐徳太子&小沢剛」上野の森美術館EXTRA / 東宝チェリー（東京）

 「第1回福岡アジア美術トリエンナーレ 1999」福岡アジア美術館

 「昭和40年会 / 東京からの声」現代美術製作所（東京）

 「MOTアニュアル：ひそやかなラディカリズム」東京都現代美術館

1998 「日韓現代美術展 自己と他者の間」目黒区美術館（東京）/ 国立国美術館（大阪）/ 韓国文化芸術振興院美術会館（ソ ウル,韓国）

 「どないやねん！」フランス国立高等美術学校（パリ、フランス）

 「1998 台北ビエンナーレ/欲望場域」台北市立美術館（台湾）

 「TAKEOコミュニケーションデザイン 1998ペーパーショー」スパイラルガーデン（東京）

1997 「昭和40年会 / 東京からの声」ガレリア・メトロポリターナ・デ・バルセロナ（バルセロナ、スペイン）/ ACCガレリ ー・ヴァイマール（ヴァイマール、ドイツ）

 「シティーズ・オン・ザ・ムーヴ」ゼツェッション館（ウィーン、オーストリア） / ボルドー現代美術館 / P.S.1コン テンポラリー・アート・センター（ニューヨーク、アメリカ） / ルイジアナ近代美術館（デンマーク）他

 「ガラ・ベネフィット」ザ・ニュー・ミュージアム・オヴ・コンテンポラリー・アート（ニューヨーク、アメリカ）

1996 「Atpic Site “On Camp/Off Base”」ビッグサイト（東京）

 「再生と記憶」代官山同潤会アパート（東京）

 「写楽再見」国際交流フォーラム（東京）［世界40都市以上に巡回中］

 「昭和40年会」シナプス画廊（東京）

1995 「モルフェ’95」青山全域（東京）

 「LITTLE APERTO」ヴェネツィア路上（イタリア）

1994 「ミュージアムシティ天神」福岡市内各所

 「昭和40年会インなすび画廊」六本木WAVE（東京）

 「液晶未来—現代日本写真」フルーツマーケット・ギャラリー（エジンバラ、スコットランド）/シャルロッテンボルグ （コペンハーゲン、デンマーク）/スパイラルガーデン（東京）/新造形美術協会（ベルリン、ドイツ）他

 「新宿少年アート」歌舞伎町路上（東京）

1993 「写真で語る III」東京芸術大学藝術資料館陳列館（東京）

 「ザ・ギンブラート」銀座路上（東京）

 「fo(u)rtunes」レントゲン藝術研究所（東京）

**主な収蔵先**

東京都現代美術館

福岡アジア美術館

国際交流基金（東京）

ワタリウム美術館（東京）

豊田市美術館（愛知）

コレクション・ランベール（アヴィニョン、フランス）

滋賀県立近代美術館

広島市現代美術館

大原美術館（倉敷、岡山）

クイーンズランド現代美術ギャラリー（ブリスベン、オーストリア）

森美術館（東京）

UBSアートコレクション（チューリッヒ、スイス）

金沢21世紀美術館（石川）

国立国際美術館（大阪）

M+（香港）

Kadist Art Foundation（パリ、フランス / サンフランシスコ、アメリカ）

高松市美術館

うらわ美術館

**受賞**

2019年　第69回芸術選奨文部科学大臣賞 美術部門

2014年　第25回タカシマヤ文化基金 美術賞

2000年　第2回岡本太郎記念現代芸術大賞 準大賞